

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2011年第46週
(11月14日～11月20日)

- * 2011年11月24日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2011年10月)の疾患及び感染症豆知識
「鳥インフルエンザ(H5N1)」も掲載しています。

平成23(2011)年11月25日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2011年46週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		43週	44週	45週	46週		46週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎					1		1
	結核	78	78	92	70	4,394	400	27,001
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
三類	コレラ	2				3		10
	細菌性赤痢	3	3	3	2	76	3	274
	腸管出血性大腸菌感染症	1	3	1	5	247	54	3,675
	腸チフス					5		21
	パラチフス					9		20
四類	E型肝炎	1				9	1	51
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1		1		25		167
	エキノкокクス症					1		13
	黄熱							
	オウム病					3		13
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							1
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					2		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱						1	9
	つつが虫病			1	1	10	25	265
	デング熱	1				21		90
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1	2	154
	日本脳炎					1		8
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症						1	5
マラリア	1				24	1	71	
野兔病								
ライム病					3		7	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽							3	
レジオネラ症	4		2		63	9	710	
レプトスピラ症			1		5		24	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		43週	44週	45週	46週		46週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	2	6	4	5	156	13	733
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	1	1	1	1	34	1	214
	急性脳炎 *2	3				17		221
	クリプトスポリジウム症					2		8
	クロイツフェルト・ヤコブ病					13	3	122
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					28	3	178
	後天性免疫不全症候群	10	9	12	9	362	18	1,294
	ジアルジア症		1			10	2	56
	髄膜炎菌性髄膜炎					2		8
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	8	3	7	4	212	16	712
	破傷風	1				7	1	101
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			2	2	57
	風しん			1	1	29	2	345
麻しん	2		1		173	5	422	
2011/11/24集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 70件 肺結核 34件、その他の結核 35件、肺結核及びその他の結核 1件、年齢は5歳未満 2件、10代 2件、20代 12件、30代 7件、40代 13件、50代 7件、60代 7件、70代 10件、80代 8件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 66件、中国 3件、国内及び中国 1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 2件 患者 2件、菌種はソルネ 2件、年齢は20代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 1件、フィリピン 1件、推定感染経路は経口感染 2件であった。

腸管出血性大腸菌感染症 5件 患者 4件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO157 VT1・VT2 4件、O91 VT1 1件、年齢は5～9歳 2件、10代 1件、20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は経口感染 4件、その他(不明) 1件であった。

〈四類感染症〉

つつが虫病 1件 患者、年齢は60代、推定感染地は国内(東京都:島しょ)であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 5件 腸管 4件、腸管及び腸管外 1件、年齢は10代 1件、30代 1件、50代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路はその他(不明) 5件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(異性間)であった。

後天性免疫不全症候群 9件 AIDS 2件、無症候キャリア 4件、その他 3件、AIDSの年齢は30代 2件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 1件、30代 4件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 8件、ザンビア 1件、推定感染経路は性的接触 9件(同性間 7件、異性間 2件)であった。

梅毒 4件 早期顕症梅毒Ⅰ期 2件、早期顕症梅毒Ⅱ期 1件、無症候梅毒 1件、年齢は20代 1件、30代 1件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は性的接触 3件(異性間 2件、性別不明 1件)、その他(不明) 1件であった。

風しん 1件 検査診断例、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)、風しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

定点把握対象疾患 報告数 2011年46週

定点種別	対象疾患	2011年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		43週	44週	45週	46週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	108	98	76	94	0.36	260	264
	咽頭結膜熱	34	42	56	60	0.23		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	361	389	436	521	2.00		
	感染性胃腸炎	1,003	1,037	1,375	1,677	6.45		
	水痘	178	312	282	359	1.38		
	手足口病	260	248	179	146	0.56		
	伝染性紅斑	48	62	58	65	0.25		
	突発性発しん	170	151	185	160	0.62		
	百日咳	12	7	10	8	0.03		
	ヘルパンギーナ	45	32	21	25	0.10		
	流行性耳下腺炎	66	73	90	81	0.31		
	川崎病(注1)		5	6	8	0.03		
	不明発しん症(注1)	24	24	30	21	0.08		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	18	12	23	36	0.09	413	419
眼科	急性出血性結膜炎	1	2				37	39
	流行性角結膜炎	16	14	20	15	0.41		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	2		1			25	25
	無菌性髄膜炎	2	6	4	2	0.08		
	マイコプラズマ肺炎	42	39	39	41	1.64		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)				1	0.04		
	インフルエンザ入院(注4)			1				
2011/11/24集計								

(注1) 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

(注4) 36週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加している。
- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加している。
- ・ マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は上昇し、過去5年平均と比較して高い値で推移している。

(小児科・内科定点医療機関からのコメント)

2保健所の2医療機関からインフルエンザ迅速キットA型、2保健所の2医療機関からインフルエンザ迅速キットB型陽性の報告がありました。

大田区

- ・ 感染性胃腸炎 1歳児、病原性大腸菌 O1 1名。

世田谷区

- ・ マイコプラズマ肺炎 5名。
- ・ EBウイルス感染症 1名。
- ・ 明らかにマイコプラズマ肺炎と思われる患者さんが増えている(10歳児、15歳児、48歳、92歳etc)。溶連菌が急増。

荒川区

- ・ 感染性胃腸炎 ノロウイルス多数です。手足口病が再び増えています。
- ・ 感染性胃腸炎患者からの便培養 病原性大腸菌 O1 2名、O14 1名。

板橋区

- ・ 病原性大腸菌 O25 1名。

八王子市

- ・ アデノウイルス感染症 4歳児 2名。

多摩小平

- ・ マイコプラズマ肺炎 2名、病原性大腸菌 1名。
- ・ マイコプラズマ肺炎 6名、病原性大腸菌 8名、アデノウイルス腸炎 2名。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2011年46週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～6か月	10			16	7	4		5		
～1歳	21	3	1	100	26	9		51		3
1歳	45	13	8	247	49	40	1	90	1	10
2歳	9	5	15	176	53	19	5	6		3
3歳	5	5	41	164	54	20	7	4		2
4歳	4	15	61	177	58	21	20	2		2
5歳		9	69	150	37	11	7	1		
6歳		2	72	101	30	5	6			1
7歳		2	75	70	12	7	6		1	
8歳			66	61	8	1	11			1
9歳		1	43	72	5	2	1			
10～14歳		3	39	152	13	3	1	1		1
15～19歳			4	25	1					
20～29歳		2	27	166	6	4			6	2
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	94	60	521	1677	359	146	65	160	8	25
先週比	18	4	85	302	77	-33	7	-25	-2	4

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～6か月		2	3			
～1歳			2			
1歳	3	5	6	2		
2歳	5		3	1		
3歳	13		2	2		1
4歳	10		2	4		
5歳	12		2	3		1
6歳	8					
7歳	9	1		1		
8歳	8			1		
9歳	4			1		
10～14歳	6			11		
15～19歳				1		
20～29歳	3		1	3		2
30～39歳				2		2
40～49歳				2		6
50～59歳						2
60～69歳						
70～79歳				2		1
80歳以上						
合計	81	8	21	36		15
先週比	-9	2	-9	13		-5

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2011年46週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳	1	
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2011年46週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田				3	2					
中央区		1	2	3	7		1	4		
みなと	2	4	3	35	5	5	1	3	1	2
新宿区	10	1	9	50	5	3	2	4	1	1
文京				9	2	1		3		
台東			6	28	2		2	6		1
墨田区	3	3	8	27	16	1		3		2
江東区	13	4	34	97	24	13	1	5		1
品川区			9	67	9	2		4		
目黒区	1		2	31	4	2	1	1		
大田区	6	11	32	159	25	3		10		1
世田谷	6		48	91	14	36		6		
渋谷区	1	1	2	35	2	1		1		
中野区	1	1	9	54	6	4		6		1
杉並	1		9	77	3	2	1	4		
池袋				4					2	
北区			5	32	2	1		7		1
荒川区	1	1	12	47	7	9		6	2	
板橋区	1	6	4	21	8	3	2	4		
練馬区	1		17	80	27	3	1	5	1	1
足立	1	1	18	107	22	7	13	9		
葛飾区	1	1	17	53	2			7		1
江戸川	3	4	18	64	23	6		7		3
八王子市		1	38	92	19	3	11	12	1	3
町田市	8		67	82	27	5	1	4		2
西多摩	2	2	15	27	8	2		2		1
南多摩	5	1	14	43	3	6	2	6		1
多摩立川	7	2	38	98	17	3	1	2		
多摩府中	7	4	42	80	56	13	21	13		1
多摩小平	13	11	43	81	12	12	3	16		2
島しょ							1			
東京都合計	94	60	521	1,677	359	146	65	160	8	25

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2011年46週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田		2				
中央区	1					1
みなと						
新宿区	2	1	1	1		1
文京				1		1
台東	1					
墨田区				1		
江東区	3		2			
品川区			1			1
目黒区	1					
大田区	8		1			1
世田谷	4	1	1	3		
渋谷区	1					1
中野区	2		1	1		
杉並	7			1		2
池袋						
北区	9		1			
荒川区	3			11		1
板橋区	4					
練馬区	1		1	1		1
足立	2	1	1			
葛飾区	2	2	1	2		
江戸川	2			6		
八王子市	10		2			1
町田市			1	4		
西多摩	1					
南多摩	3		1			1
多摩立川	1		2	3		
多摩府中	9		3	1		
多摩小平	3	1	1			3
島しょ	1					

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
町田市		
西多摩		
南多摩		
多摩立川	1	
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	81	8	21	36	-	15
-------	----	---	----	----	---	----

東京都合計	1	
-------	---	--

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2011年46週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				1.00	0.67					
中央区		0.33	0.67	1.00	2.33		0.33	1.33		
みなと	0.33	0.67	0.50	5.83	0.83	0.83	0.17	0.50	0.17	0.33
新宿区	1.25	0.13	1.13	6.25	0.63	0.38	0.25	0.50	0.13	0.13
文京				2.25	0.50	0.25		0.75		
台東			1.50	7.00	0.50		0.50	1.50		0.25
墨田区	0.60	0.60	1.60	5.40	3.20	0.20		0.60		0.40
江東区	1.44	0.44	3.78	10.78	2.67	1.44	0.11	0.56		0.11
品川区			1.13	8.38	1.13	0.25		0.50		
目黒区	0.20		0.40	6.20	0.80	0.40	0.20	0.20		
大田区	0.46	0.85	2.46	12.23	1.92	0.23		0.77		0.08
世田谷	0.38		3.00	5.69	0.88	2.25		0.38		
渋谷区	0.25	0.25	0.50	8.75	0.50	0.25		0.25		
中野区	0.14	0.14	1.29	7.71	0.86	0.57		0.86		0.14
杉並	0.10		0.90	7.70	0.30	0.20	0.10	0.40		
池袋				1.33					0.67	
北区			0.71	4.57	0.29	0.14		1.00		0.14
荒川区	0.25	0.25	3.00	11.75	1.75	2.25		1.50	0.50	
板橋区	0.10	0.60	0.40	2.10	0.80	0.30	0.20	0.40		
練馬区	0.08		1.31	6.15	2.08	0.23	0.08	0.38	0.08	0.08
足立	0.08	0.08	1.38	8.23	1.69	0.54	1.00	0.69		
葛飾区	0.13	0.13	2.13	6.63	0.25			0.88		0.13
江戸川	0.27	0.36	1.64	5.82	2.09	0.55		0.64		0.27
八王子市		0.09	3.45	8.36	1.73	0.27	1.00	1.09	0.09	0.27
町田市	1.00		8.38	10.25	3.38	0.63	0.13	0.50		0.25
西多摩	0.25	0.25	1.88	3.38	1.00	0.25		0.25		0.13
南多摩	0.63	0.13	1.75	5.38	0.38	0.75	0.25	0.75		0.13
多摩立川	0.50	0.14	2.71	7.00	1.21	0.21	0.07	0.14		
多摩府中	0.33	0.19	2.00	3.81	2.67	0.62	1.00	0.62		0.05
多摩小平	0.87	0.73	2.87	5.40	0.80	0.80	0.20	1.07		0.13
島しょ							1.00			

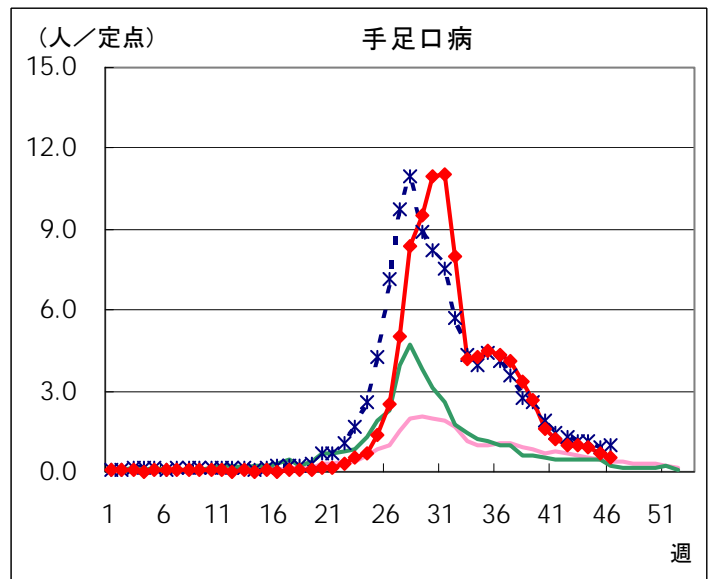
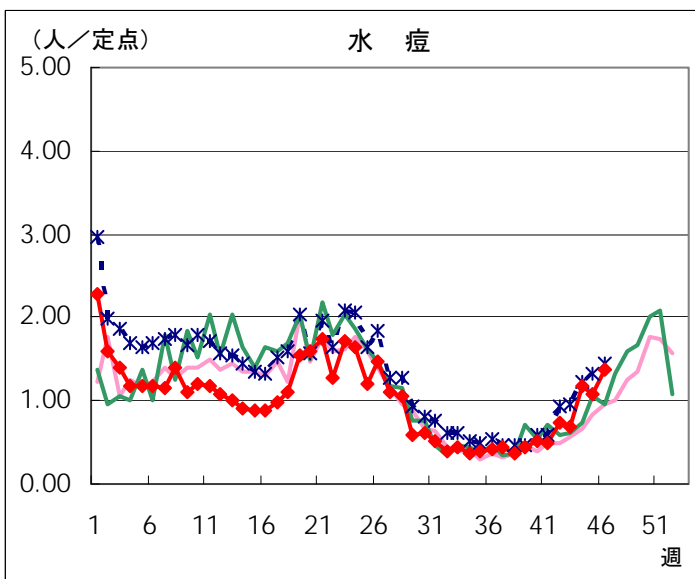
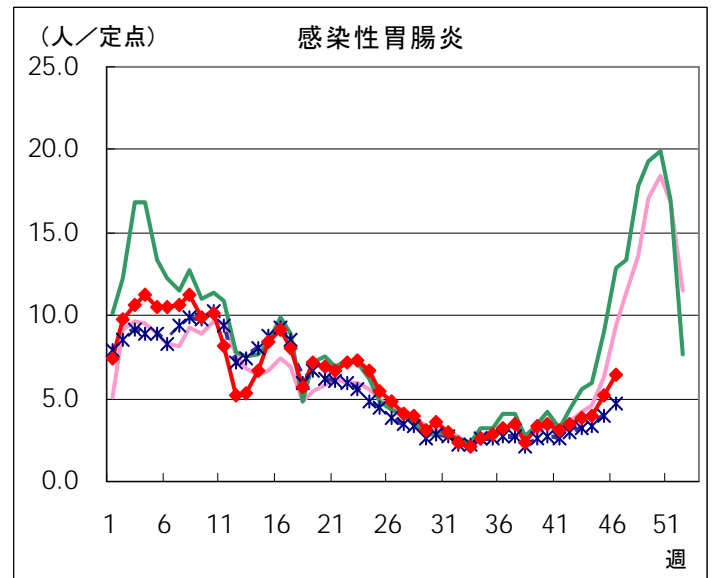
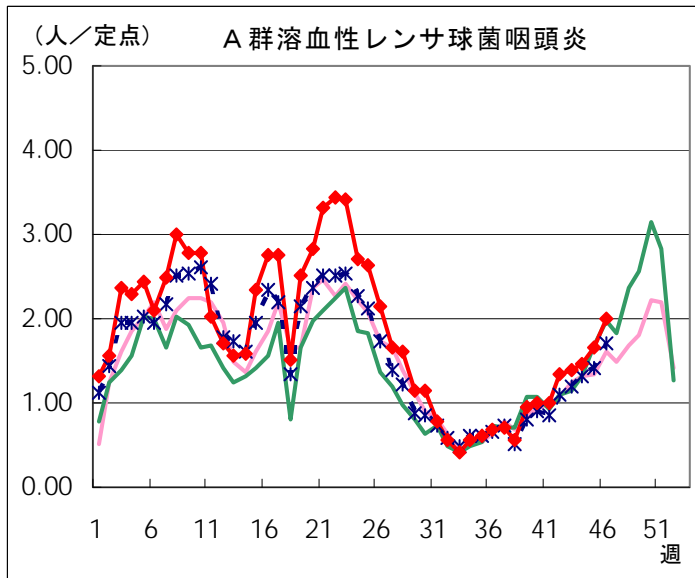
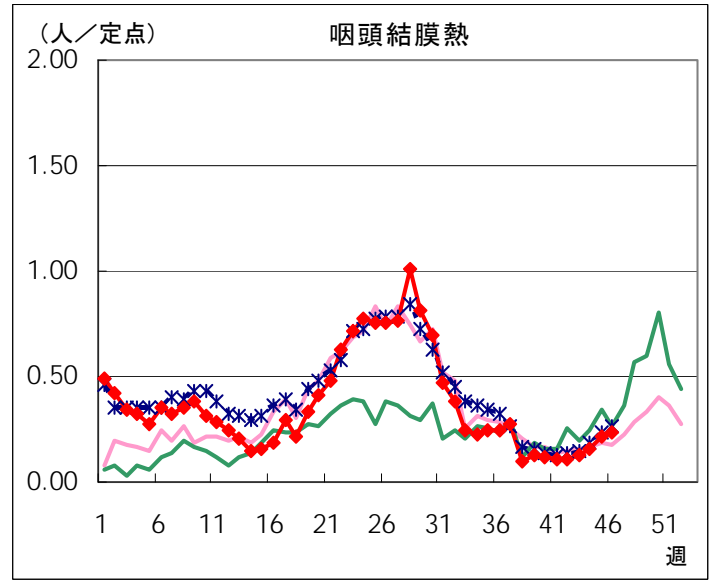
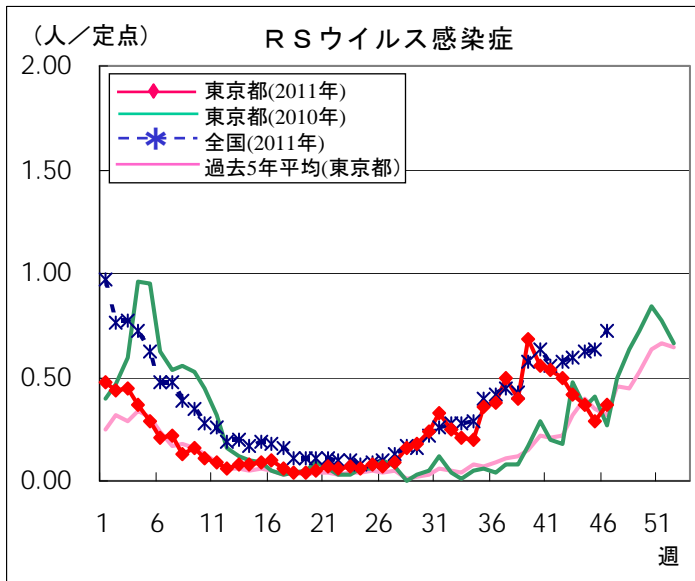
東京都	0.36	0.23	2.00	6.45	1.38	0.56	0.25	0.62	0.03	0.10
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

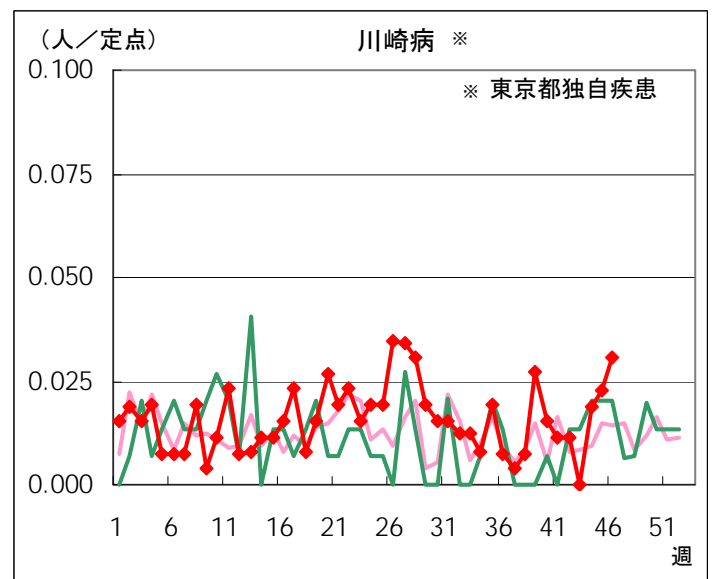
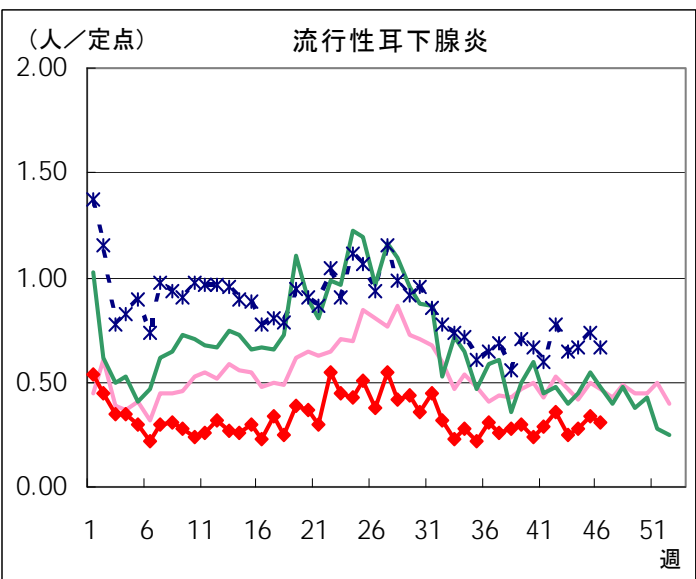
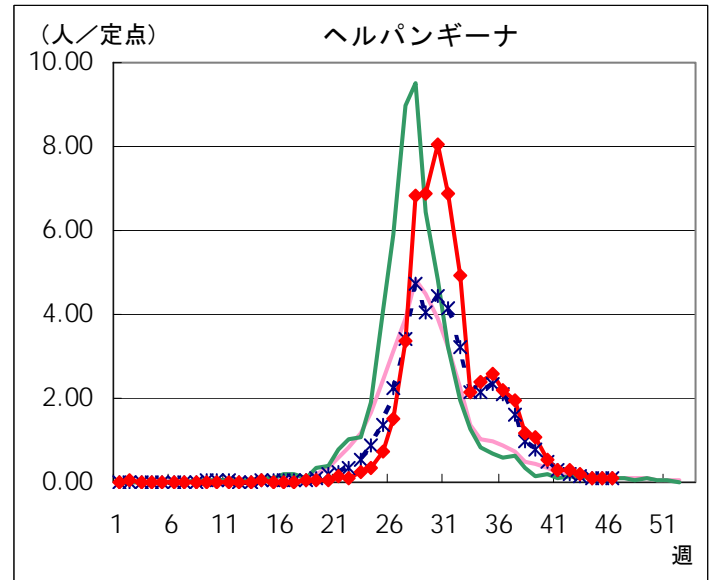
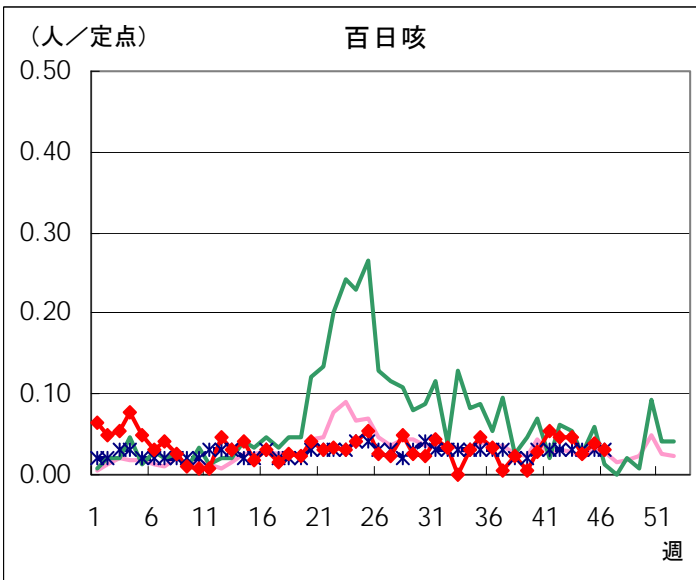
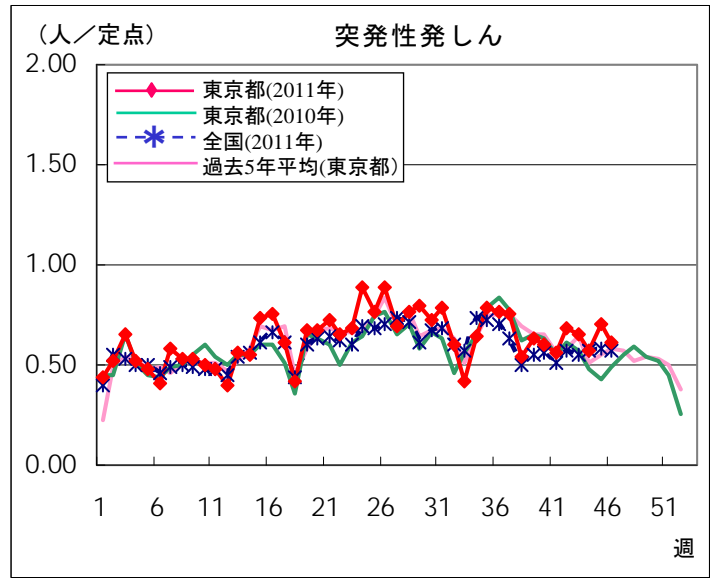
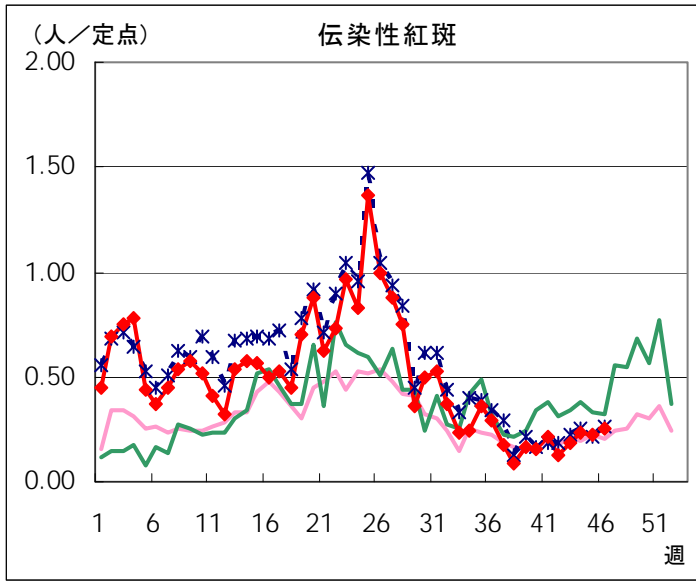
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田		0.67				
中央区	0.33					1.00
みなの						
新宿区	0.25	0.13	0.13	0.08		1.00
文京				0.14		1.00
台東	0.25					
墨田区				0.13		
江東区	0.33		0.22			
品川区			0.13			1.00
目黒区	0.20					
大田区	0.62		0.08			0.50
世田谷	0.25	0.06	0.06	0.12		
渋谷区	0.25					1.00
中野区	0.29		0.14	0.09		
杉並	0.70			0.06		2.00
池袋						
北区	1.29		0.14			
荒川区	0.75			1.57		1.00
板橋区	0.40					
練馬区	0.08		0.08	0.05		0.50
足立	0.15	0.08	0.08			
葛飾区	0.25	0.25	0.13	0.15		
江戸川	0.18			0.33		
八王子市	0.91		0.18			0.50
町田市			0.13	0.31		
西多摩	0.13					
南多摩	0.38		0.13			1.00
多摩立川	0.07		0.14	0.14		
多摩府中	0.43		0.14	0.03		
多摩小平	0.20	0.07	0.07			1.50
島しょ	1.00					

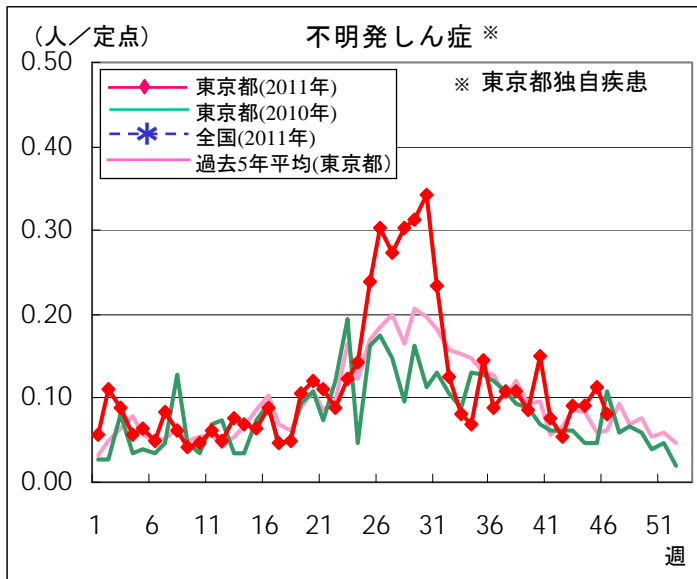
東京都	0.31	0.03	0.08	0.09	-	0.41
-----	------	------	------	------	---	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2011年46週現在

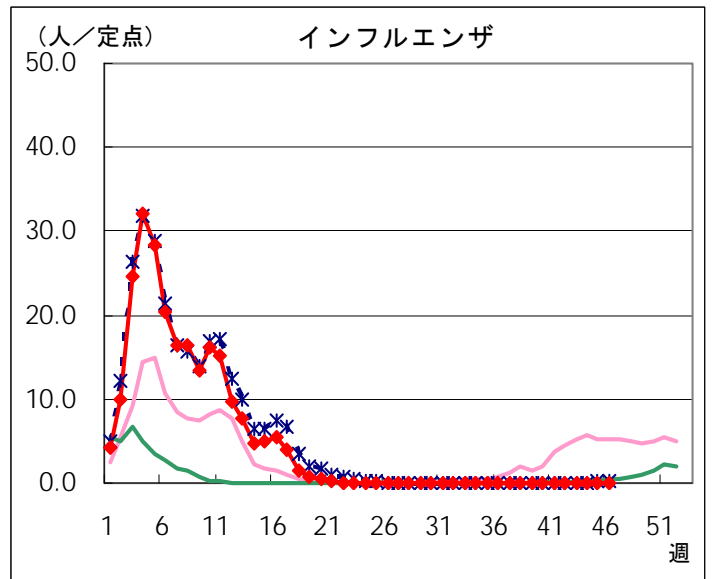
◆ 小児科定点



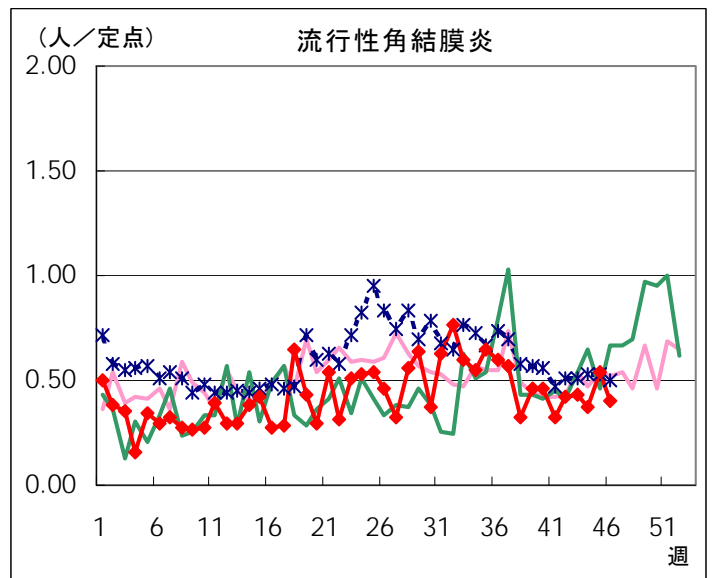
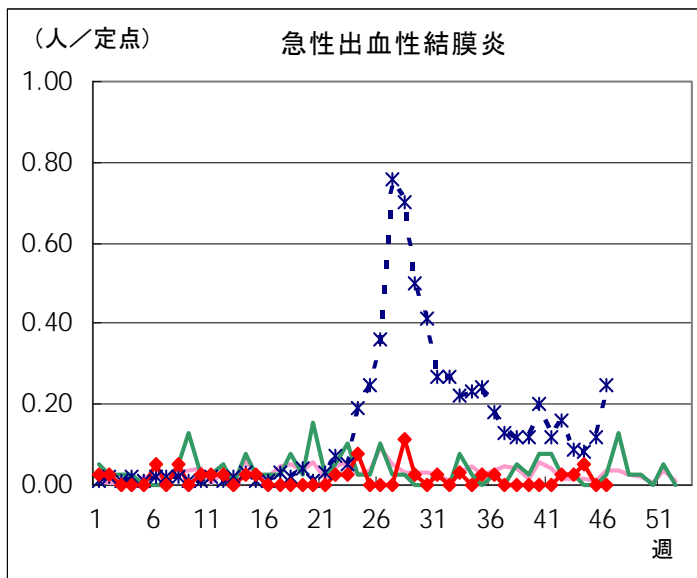




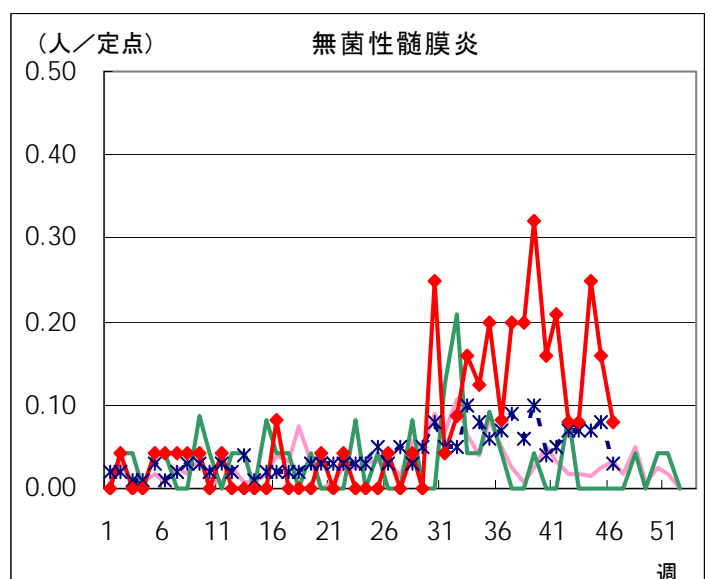
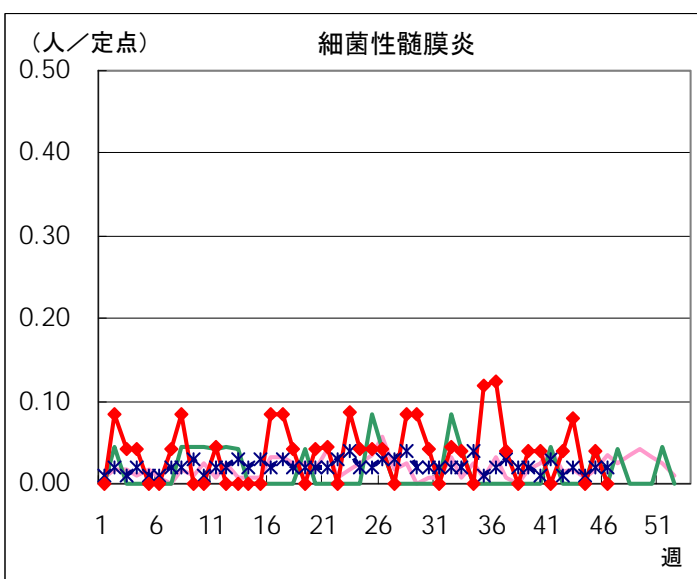
◆ インフルエンザ定点

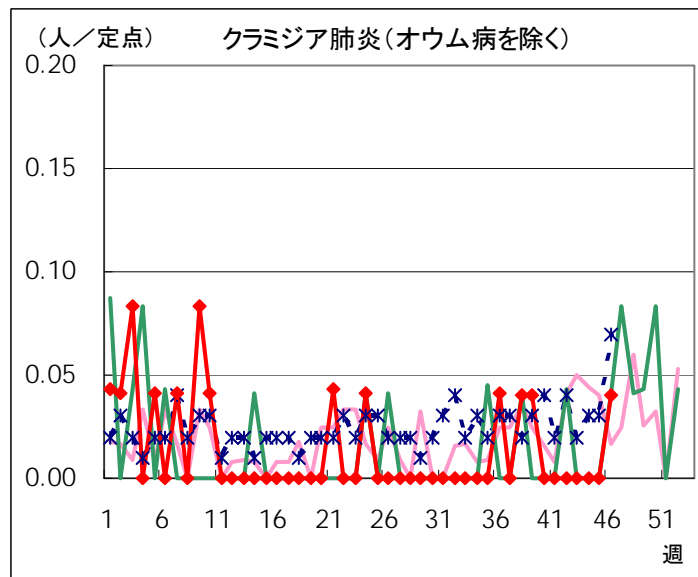
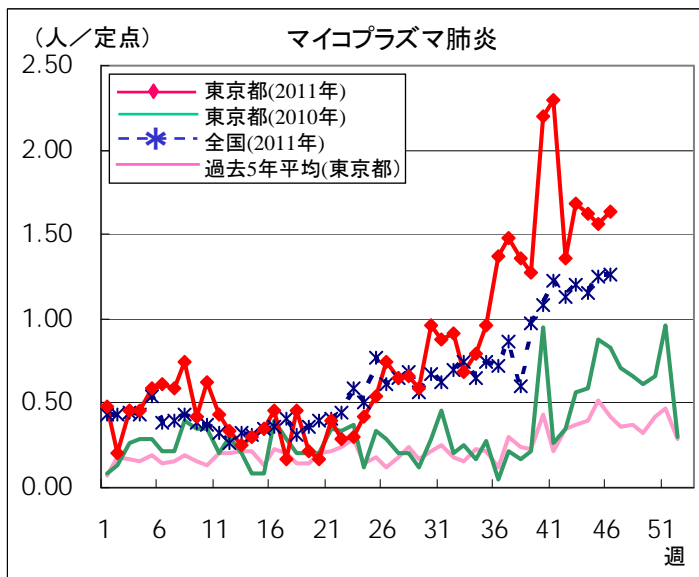


◆ 眼科定点

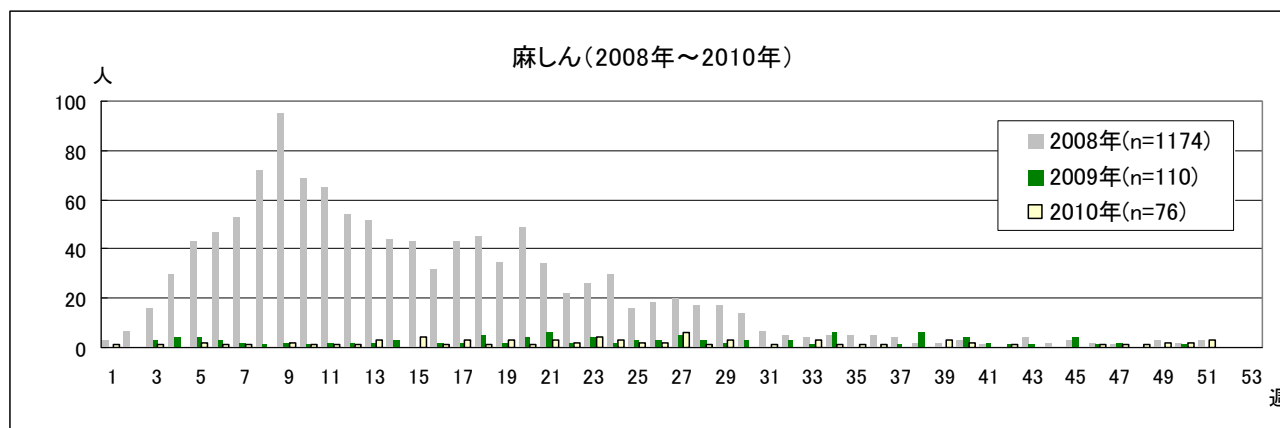
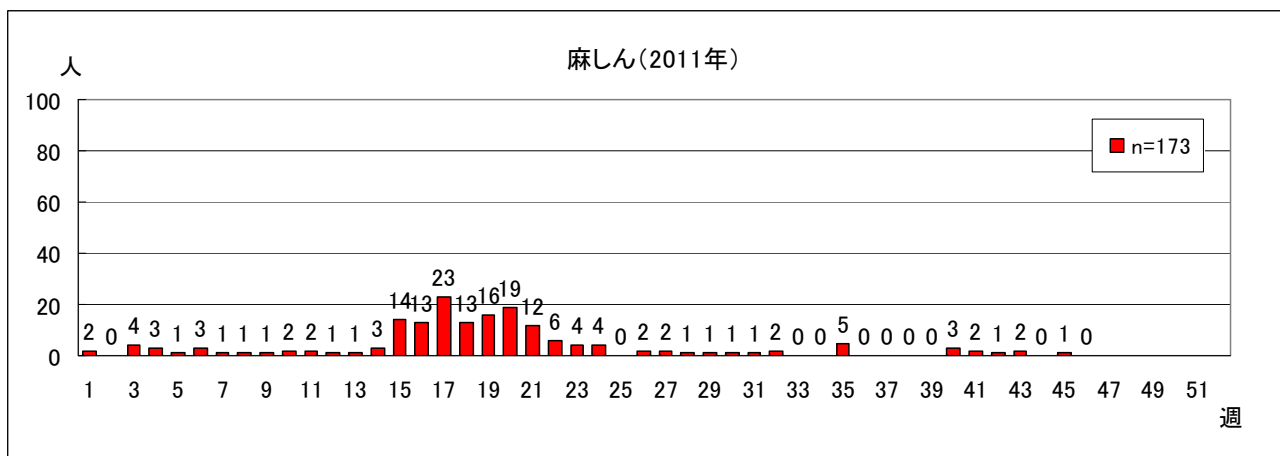


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2011年46週現在



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
11/1	突発性発しん	8M	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス 7型	遺伝子
10/28	不明発しん症	8M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
11/7	気管支炎	10M	鼻汁	エンテロウイルス	
11/8	突発性発しん	10M	記載なし	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型	
11/7	けいれん重積	11M	髄液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
			咽頭拭い液	ライノウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型・7型	
11/7	気管支炎	1	鼻汁	ライノウイルス、RSウイルス	
11/7	急性胃腸炎	1	直腸拭い液	ライノウイルス、ノロウイルス サポウイルス	
11/7	急性胃腸炎	1	直腸拭い液	ノロウイルス	
11/8	喘息性気管支炎	1	鼻汁	ライノウイルス	
11/7	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ライノウイルス ヒトヘルペスウイルス 7型	
11/1	熱性けいれん	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
11/5	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型・7型	
11/11	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
11/7	感染性胃腸炎	2	糞便	A群ロタウイルス	抗原
11/7	感染性胃腸炎	2	糞便	ノロウイルス	遺伝子
11/8	手足口病	2	咽頭拭い液	ライノウイルス	
11/7	流行性耳下腺炎	2	記載無し	ライノウイルス、ムンプスウイルス	
11/9	インフルエンザ様疾患 (発熱、頭痛)	4	咽頭拭い液	アデノウイルス 5型	
11/4	不明熱	5	咽頭拭い液	アデノウイルス、RSウイルス	
11/10	気管支炎	6	咽頭拭い液	マイコプラズマ・ニューモニア	
11/4	中耳炎	6	咽頭拭い液	ライノウイルス	
11/7	不明熱	6	記載なし	アデノウイルス	
11/4	溶連菌感染症	6	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌 (T型別:4型、毒素:SPE-C産生)	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
11/10	両耳下腺腫脹	8	咽頭拭い液	ライノウイルス、EBウイルス	遺伝子
11/8	上気道炎	23	咽頭拭い液	ライノウイルス	
11/7	上気道炎	37	咽頭拭い液	ライノウイルス	

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm09*型
45週	0	0	0	0
2011-2012年 シーズン累計**	0	1	1	0

* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とします。

** 2011-2012シーズンの開始は第36週(2011年9月5日～9月11日)

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2011年							
		38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週
ウイルス	アデノウイルス	1	7	3		3	1	7	3
	ライノウイルス	3	8	6	4	5	9	7	11
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群			1					
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	4	31	8	9	12	13	8	5
	単純ヘルペスウイルス		1			2			
	水痘・帯状疱疹ウイルス			2		1			
	ヘルペスウイルス6/7		4	1	3		4	3	9
	EBウイルス	2	3			3	5	2	1
	サイトメガロウイルス		1	1			1	1	
	ムンプスウイルス		3	1	3	2			1
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19						1		
	RSウイルス	1	13	3	6	1	1		2
	ノロウイルス		1				2	1	3
	ロタウイルス								1
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3				1				
	インフルエンザウイルスB						1		
インフルエンザウイルスAH1pdm09									
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス								1	
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ					1			
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								1
	百日咳			1	3	1	1		
	マイコプラズマ			2	3	1	1		1
	その他の細菌			4	5	2	2		
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2011年38週～2011年45週

臨床診断名 検出病原体		インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数		3	45	84	27	55	3	3	4	2	29	2	30	16	5	1		87	
ウイルス	アデノウイルス		3	6	2		2		1		2		1	1				7	
	ライノウイルス		7	20	1	1			1		2		8	3	1			9	
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群																		
	コクサッキーウイルスB群																	1	
	エコーウイルス																		
	エンテロウイルス71																		
	その他のエンテロウイルス		10	10	2	19				2	26		9					12	
	単純ヘルペスウイルス										2		1						
	水痘・帯状疱疹しんウイルス														3				
	ヘルペスウイルス6/7										3		9					12	
	EBウイルス		2			2						1	4	3				4	
	サイトメガロウイルス		1										2					1	
	ムンプスウイルス													9				1	
	麻疹しんウイルス																		
	風しんウイルス																		
	パルボウイルスB19													1					
	RSウイルス		3	19							1								4
	ノロウイルス					7													
	ロタウイルス					1													
	インフルエンザウイルスAH1																		
	インフルエンザウイルスAH3	1																	
インフルエンザウイルスB	1																		
インフルエンザウイルスAH1pdm09																			
デングウイルス(抗体を含む)																			
その他のウイルス					1														
細菌	カンピロバクター																		
	サルモネラ				1														
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌							1											
	百日咳		6																
	マイコプラズマ				8														
	その他の細菌		11	2															
その他の病原体																			

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2011年10月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	127	2.31	55	55
		女	86	1.56		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	70	1.27		
		女	28	0.51		
	尖圭コンジローマ	男	41	0.75		
		女	20	0.36		
	淋菌感染症	男	102	1.85		
		女	12	0.22		
	膺トリコモナス症 *1	男	1	0.02		
		女	13	0.24		
梅毒様疾患	男	15	0.27			
	女	2	0.04			
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	53	2.12	25	25
		女	37	1.48		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	27	1.08		
		女	21	0.84		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	1	0.04		
		女	3	0.12		
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症 *2	男				
		女				

2011/11/24

*1 性感染症定点から報告される『膺トリコモナス症』とは、原虫の一種である膺トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膺、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

*2 2011年2月1日より新たに指定された。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2011年10月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	6		1	1		
20～24歳	13	1	4	16	1	1
25～29歳	28	9	11	19		3
30～34歳	25	12	6	21		3
35～39歳	18	13	6	19		3
40～44歳	19	11	5	12		4
45～49歳	7	6	4	6		
50～54歳	8	6	1	3		1
55～59歳	1	5	1	3		
60～64歳	1	2				
65～69歳	1	4	1	2		
70歳～		1	1			
合計	127	70	41	102	1	15
先月数	132	70	46	88	2	11
増減数	-5		-5	14	-1	4

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳			1			
15～19歳	14	1	2	3	2	
20～24歳	28	2	5	3	2	
25～29歳	19	10	6	5	1	1
30～34歳	9	5	4	1	3	
35～39歳	7	2	2		2	
40～44歳	5	5			2	
45～49歳	3	1			1	1
50～54歳	1					
55～59歳						
60～64歳						
65～69歳		1				
70歳～		1				
合計	86	28	20	12	13	2
先月数	88	44	24	15	9	
増減数	-2	-16	-4	-3	4	2

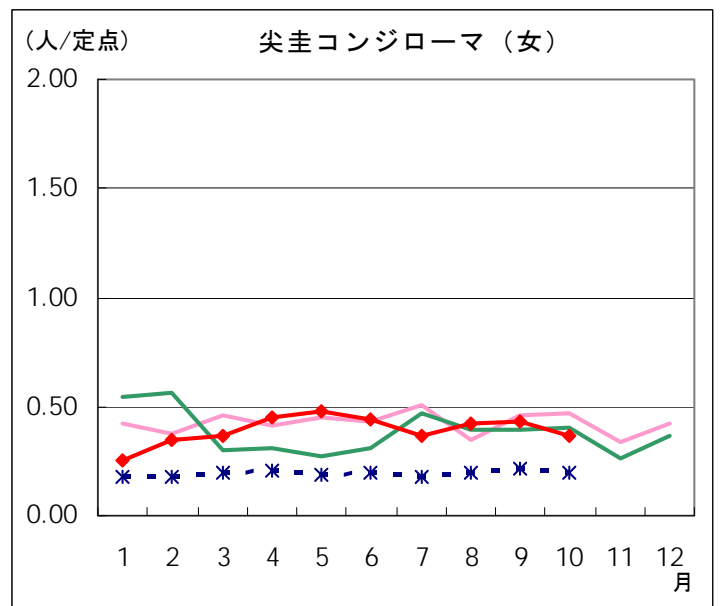
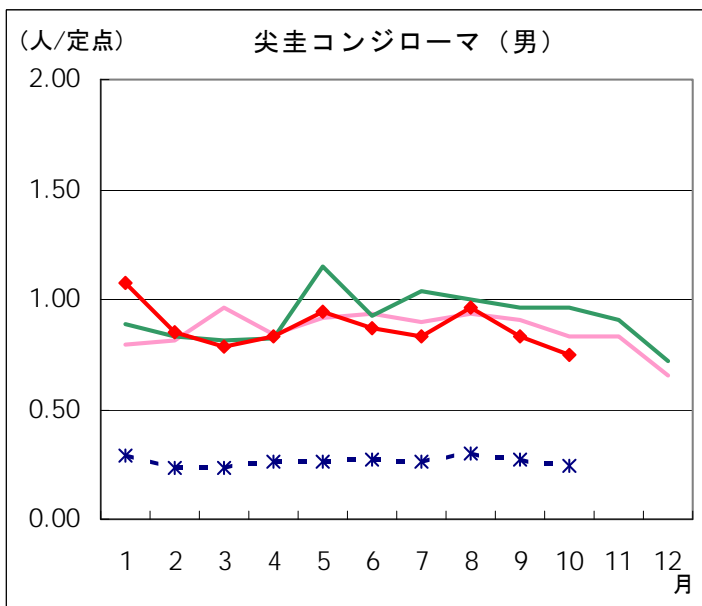
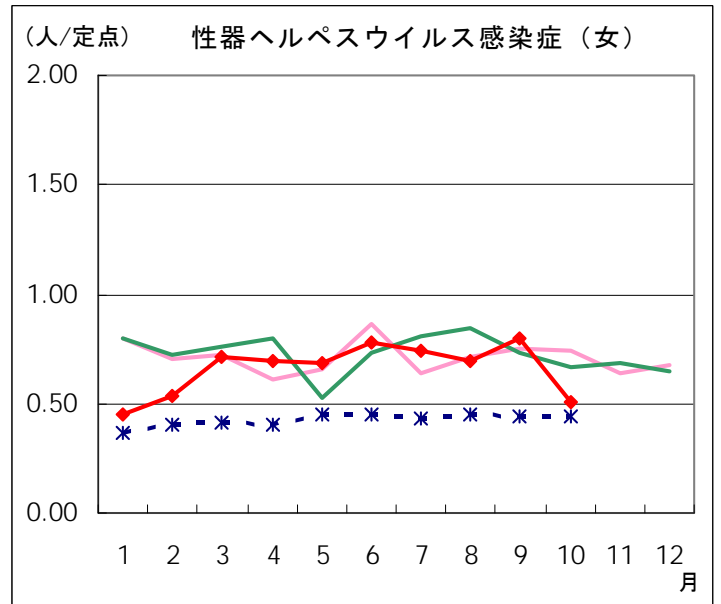
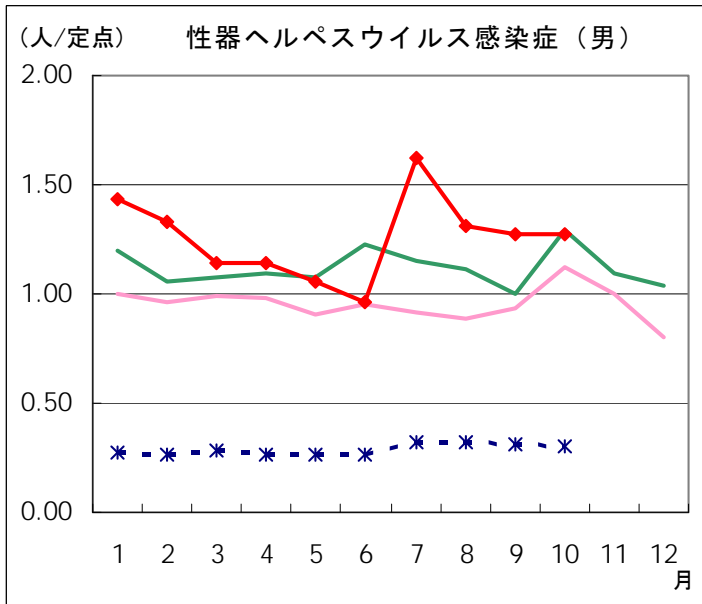
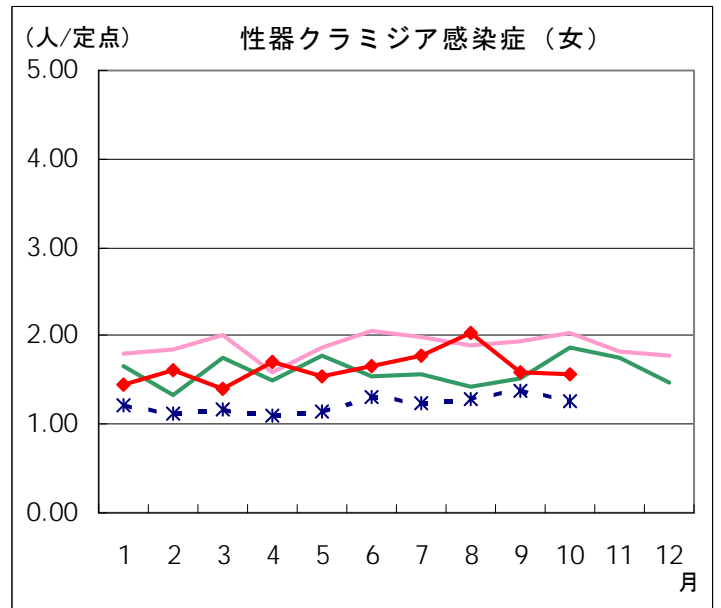
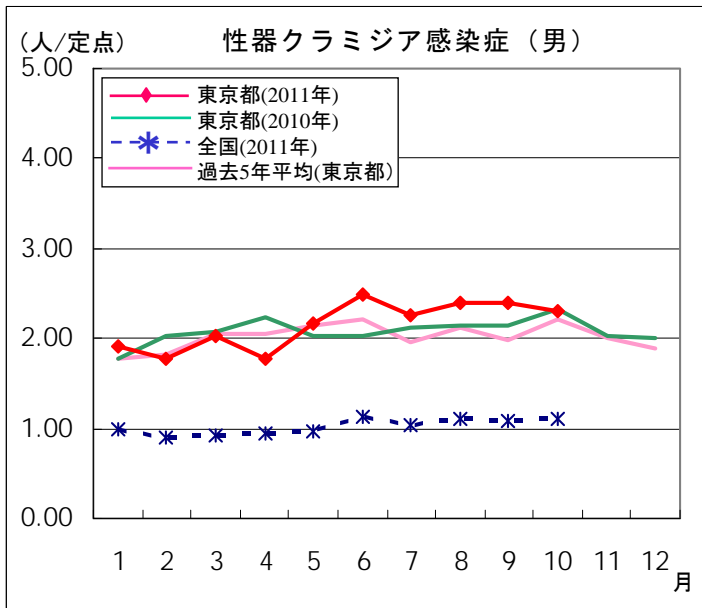
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2011年10月

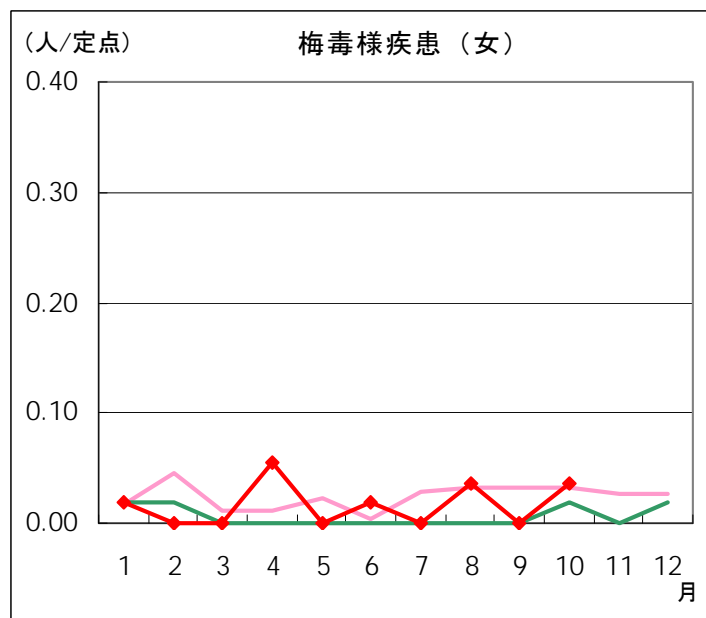
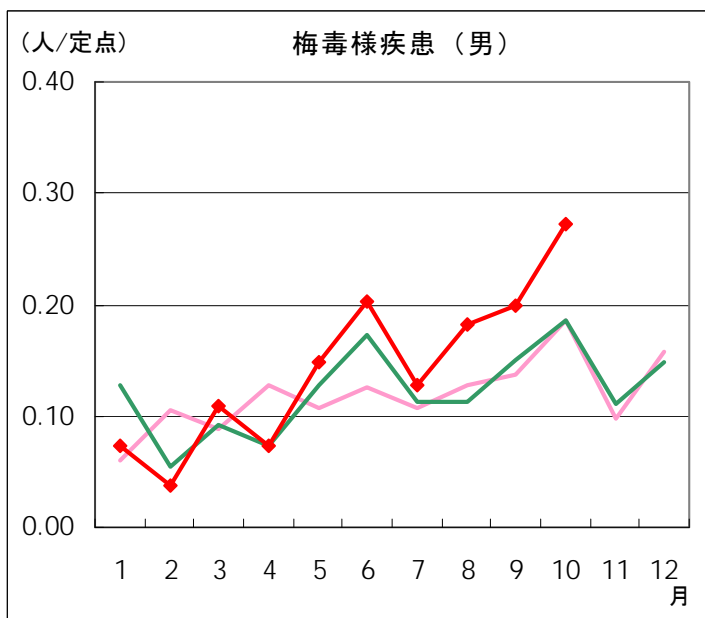
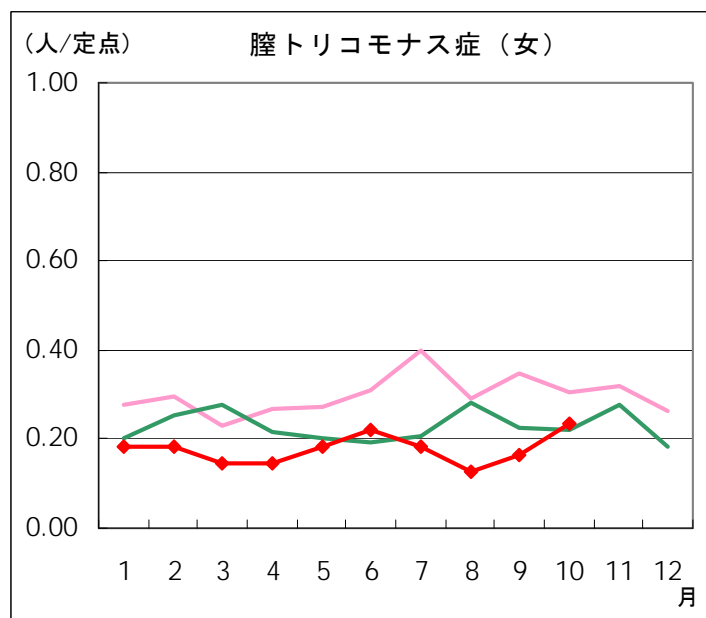
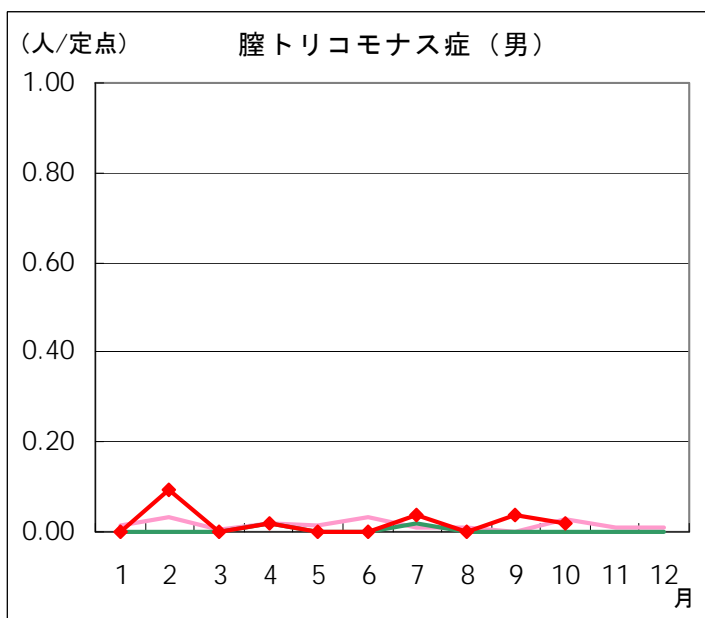
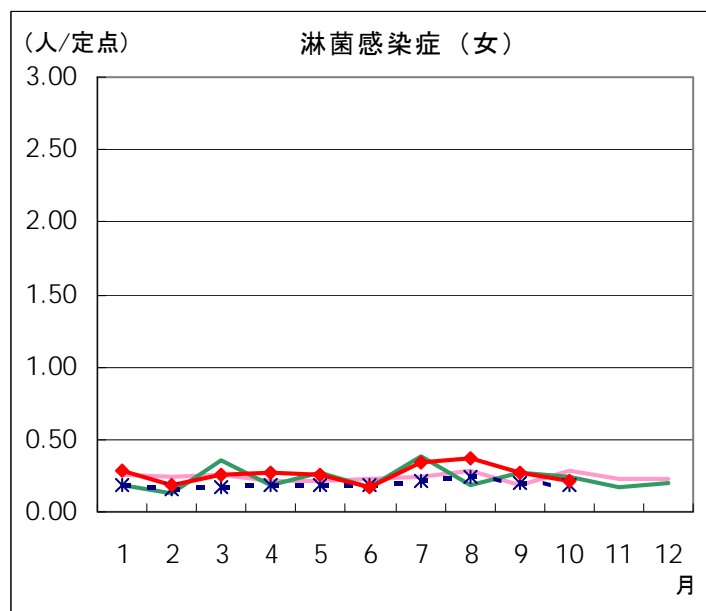
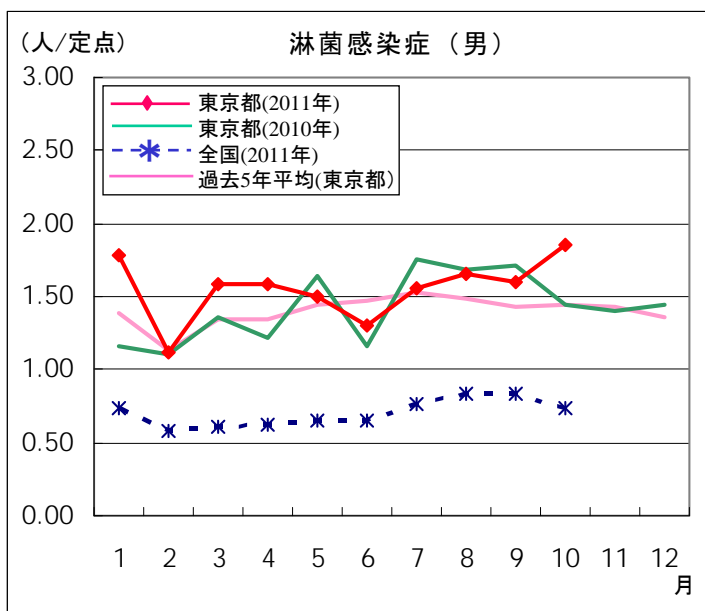
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	11	4	2	7		
中央区	3	12	2	1	2		
みなと	2	6	26	7	4		2
新宿区	7	31	13	14	40	1	10
文京	1	5	1	2	2		
台東	2						
墨田区	2	5	1	4	1		
江東区	2	10	6		7		
品川区	1	10	2	1	10		
大田区	2	1			1		
渋谷区	5	6	4		4		
中野区	2	1	1	1	4		2
杉並	2	6			1		
池袋	3	9	6	4	11		1
北区	1	1	1	4	1		
荒川区	1						
板橋区	2				5		
足立	2	6			2		
江戸川	2	7	3	1			
八王子市	4						
町田市	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3						
多摩小平	1						
合 計	55	127	70	41	102	1	15
定点当たり		2.31	1.27	0.75	1.85	0.02	0.27

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2						
中央区	3	3	1	1			
みなと	2	4	6	1		1	
新宿区	7	12	8	4	4		
文京	1						
台東	2	5	2				
墨田区	2	1		1	1		
江東区	2	1			2		
品川区	1	1				1	
大田区	2	7		1			
渋谷区	5	8	5	7		1	2
中野区	2			1			
杉並	2			1			
池袋	3	10	3	2	4		
北区	1						
荒川区	1	3	1				
板橋区	2	3				2	
足立	2	1					
江戸川	2	7				1	
八王子市	4	4	1	1	1	1	
町田市	1	3	1			3	
多摩立川	2	13				3	
多摩府中	3						
多摩小平	1						
合 計	55	86	28	20	12	13	2
定点当たり		1.56	0.51	0.36	0.22	0.24	0.04

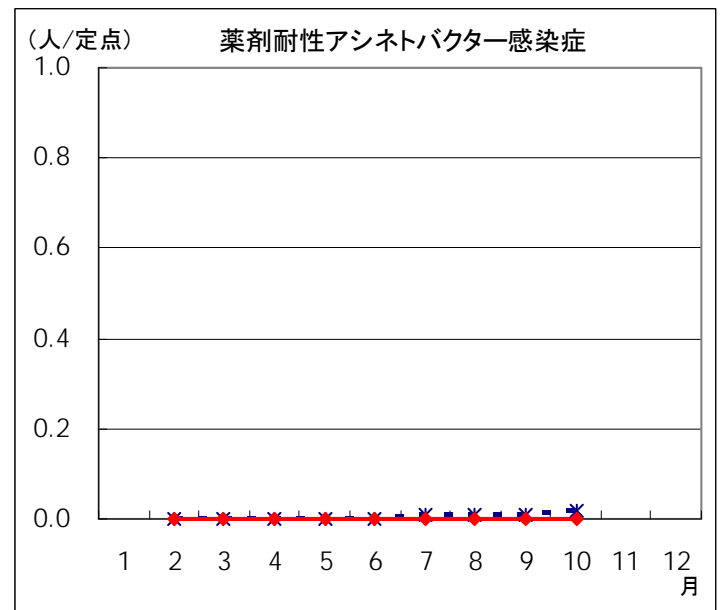
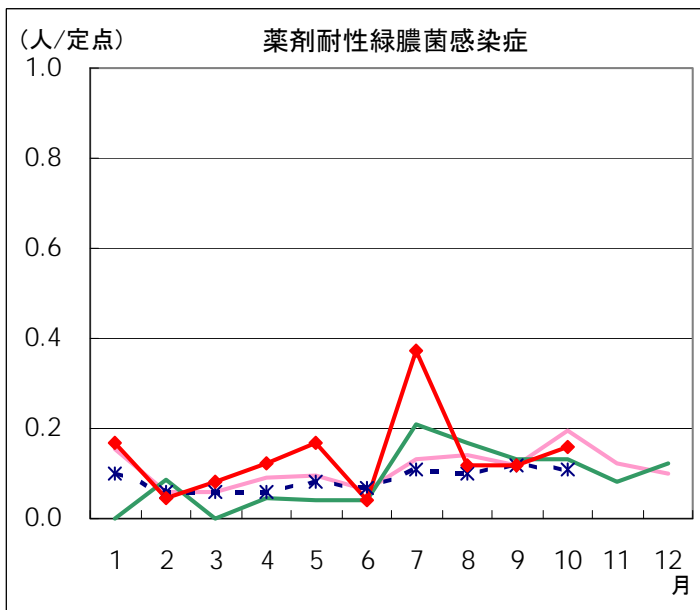
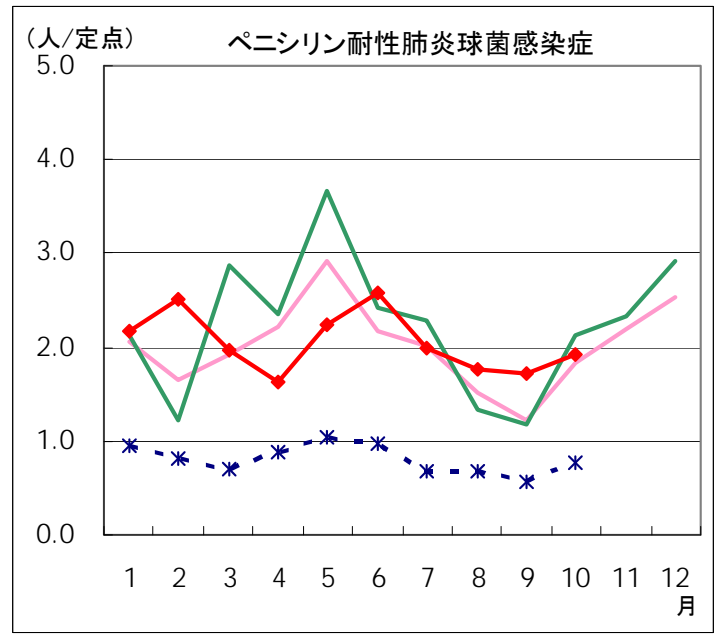
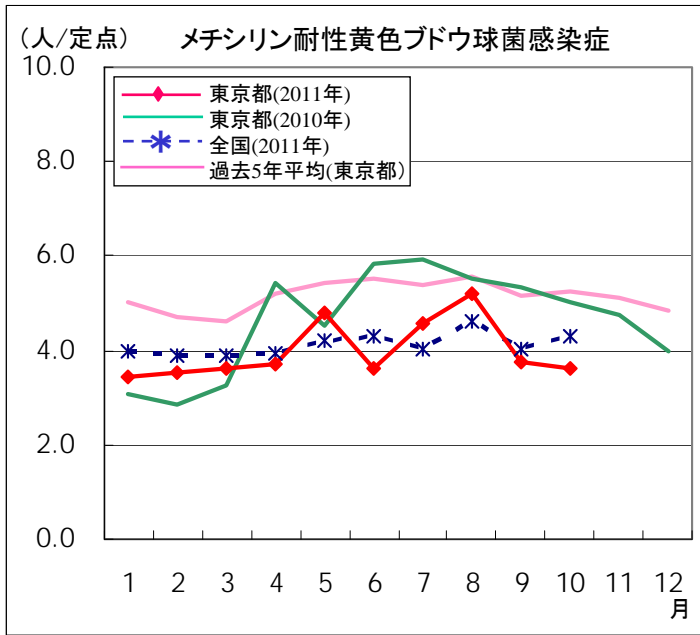
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2011年10月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
10/4	陰茎ヘルペス	64	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	遺伝子
10/4	尿道炎	25	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
10/4	尿道炎	33	男	尿	淋菌	
10/6	尿道炎	35	男	尿	淋菌	
10/12	陰茎ヘルペス	43	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 1型	遺伝子
10/12	陰茎ヘルペス	38	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	
10/17	尿道炎	36	男	尿	クラミジア、淋菌	
10/18	尿道炎	36	男	尿	淋菌	遺伝子 分離同定
10/25	外陰部ヘルペス疑い	48	記載なし	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス 1型	遺伝子
10/26	尿道炎	27	男	尿	淋菌	
10/26	尿道炎	40	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
10/27	性器ヘルペス	24	男	皮膚病巣(水疱内容物)	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	
10/27	性器ヘルペス	20	男	皮膚病巣(水疱内容物)	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	
10/27	性器ヘルペス	34	男	皮膚病巣(水疱内容物)	ヒト単純ヘルペスウイルス 1型	
10/31	尖圭コンジローマ	23	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス 81型	
10/31	性器ヘルペス	65	男	皮膚病巣(水疱内容物)	ヒト単純ヘルペスウイルス 2型	

<感染症豆知識>

「鳥インフルエンザ（H5N1）」

1997年、香港でのH5N1型の高病原性鳥インフルエンザ(Highly Pathogenic Avian Influenza;HPAI)ウイルスによる死亡者発生(18人が感染、6人が死亡)に際し、香港中の鶏100万羽以上が淘汰され、流行は終息した。H5N1型ウイルスが直接人に感染して致死的な疾患を引き起こすことが明らかとなり、鳥がインフルエンザパンデミックを引き起こす可能性が示唆された。

2003年以降、H5N1亜型の鳥インフルエンザウイルスが東南アジアを中心に流行し、わが国でも、2010年11月に島根県の農場においてHPAIが発生し、2011年3月までに、9県での発生が確認され、家畜伝染病予防法に基づく殺処分等の防疫措置が行われた。

WHOに2011年10月10日までに報告された確定症例数によれば、566人中332人が重症呼吸器疾患を引き起こし死亡している。これらの患者らは、常時鳥に接しているなどの特殊な環境がある。発病患者の多いインドネシア、エジプト、ベトナム、中国などでは、H5型に対する鳥インフルエンザ・ワクチンが鳥に接種されている。鳥用ワクチンの効果は絶対的ではないため、感染を完全に回避できず症状を抑えるものである。したがって、鳥集団内でウイルスを長期に保有し、鳥間での感染拡大が起こり、その結果、鳥インフルエンザウイルスが人に感染したり、また、新型インフルエンザウイルスの出現の可能性も考えられる。H5N1型の出現時から現在まで、未だに鳥型ウイルスからヒト型ウイルスへの変化は見られない。

家畜伝染病予防法(最終改正:平成23年6月17日)では、高病原性鳥インフルエンザを「国際獣疫事務局(OIE)が作成した診断基準により、高病原性鳥インフルエンザウイルスと判定されたA型インフルエンザウイルスの感染による家きん(鳥、あひる、うずら、七面鳥、きじ、だちょう、ほろほろ鳥)の疾病」と定め、新たに「低病原性鳥インフルエンザ」について「H5又はH7亜型のA型インフルエンザウイルスであってHPAIウイルス以外のものの感染による家きんの疾病」と定めている。発生の際には、行政的に殺処分と消毒などの防疫処置、鶏の一定範囲の移動制限などが行われる。鳥インフルエンザは公衆衛生上も最重要課題となっている。

なお、H5N1亜型の鳥インフルエンザウイルスのヒトへの感染については、感染症法上、鳥インフルエンザ(H5N1)として二類感染症に指定されており(H5N1以外の亜型の場合は四類感染症として)、届出が義務づけられている。

(文責 NPO法人日本パストツール協会副会長 池田忠生)